

香港の教育事情について  
～「習い事」にも証明書が必要～

香港駐在員事務所  
秘書 Hau Siu Yun, June

2011年9月に発表された「世界の大学ランキング<sup>1</sup>」で香港大学は世界22位となり、アジア地域では2年連続トップとなりました。

香港中文大学や香港科技大学もアジアトップ10にランク入りしており、香港の教育水準の高さが裏付けられたものと思われます。

世界の大学ランキング(2011年)

世界順位	アジア順位	大学名	所在
22	1	香港大	香港
25	2	東京大	日本
28	3	シンガポール国立大	シンガポール
32	4	京都大	日本
37	5	香港中文大	香港
40	6	香港科技大	香港
42	7	ソウル大	韓国
45	8	大阪大	日本
46	9	北京大	中国
47	10	清華大	中国

香港は「テスト社会」「詰め込み教育」と揶揄される事もあるなど、アジアで最も教育熱心な国・地域の一つです。

長い間イギリス統治下にあったことに加え、政府が「レッセ・フェール(不干渉主義)」を貫いていることも、競争意識に拍車をかけているようです。

受験競争は幼稚園から始まっており、有名校への進学率の高い小学校を目指して有名幼稚園に入れようとする親は多く、中には通園に便利な地域までわざわざ引っ越す人も見られます。

小学校に入った後も良い中学校・高校に行くために、多くの子供たちが家庭教師・学習塾を利用していますが、一方でピアノ、絵画、水泳、卓球等のいわゆる「習い事」を2つも3つも掛け持ちするなど、大人顔負けの忙しい生活を送っています。

先述の香港大学が2010年、小・中学生の子供を持つ親約1,000人を対象に行った調査によると、「習い事(家庭教師・学習塾除く)」に平均で年間9,842HKドル(約98,000円)支払っており、「習い事」を3つ以上している子供が全体の36%に上る事が判明しました。

「習い事」はもちろん、健康維持や体力作り、感性を養う事なども目的としていますが、多くの親は将来の受験のために「習い事」をさせているのが実態のようです。

特に人気の高い私立中学校の受験において、公表はされていませんが、学校の成績以外の校外活動についても評価対象とされるケースが多く、「習い事」をしているかどうか、重要な項目の一つとなっています。

さらに、単に「習い事」をしているだけでは無く、「検定試験の合格証書」「大会で入賞した時の表彰状」等の「証明書」を提出することが評価において効果があるとされる場合が多く、各「習い事」教室はそれらの「証明書」が出せる事を強くアピールしています。

このように、幼い頃から全ての行動を将来の受験に結び付けられる香港の子供達は、少し可哀想な気がしますが、土地も狭く資源もない香港が将来も繁栄し続けるためには止むを得ないのかも知れません。

子供の教育費調査

順位	項目	年平均出費
1	習い事	9,842
2	家庭教師・学習塾	8,952
3	食費	4,936
4	交通費	2,984
5	教科書	2,902
6	学習用品	1,901
7	補足教材費	977

(出所:香港大学民意研究計画)

単位はHKドル

<sup>1</sup> 高等教育情報を提供する英国「Quacquarelli Symonds」社が「学術面の評価」「学生一人当たりの教員数」「企業による評価」など6つの基準により世界の700以上の大学の評価を行ったもの。